

保証書別添付

本機に関する基本的な内容については「取扱説明書 基本編」、画面上で設定できるメニューと設定方法については「取扱説明書 操作・設定編」を参照してください。

「取扱説明書 基本編」、「取扱説明書 操作・設定編」は以下のパナソニックサポートウェブサイト内(取扱説明書掲載ページ)に掲載しています。

https://sol.panasonic.biz/security/support/manual_dl_j.html



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に本書の「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

パナソニックi-PRO センシングソリューションズ株式会社

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号

© Panasonic i-PRO Sensing Solutions Co., Ltd. 2019
Cld0719-3020 PGQX2336WA Printed in Korea

取扱説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

「日本エリア」でのお使いのみに限ります。日本以外でのお使いの場合のサービスはいたしかねます。

■ 使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■ その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック システムお客様ご相談センター

電話 ダイヤル **0120-878-410** 受付：9時～17時30分 (土・日・祝祭日は受付のみ)
※携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

ホームページからのお問い合わせは <https://panasonic.biz/cns/cs/cntctus/>

ご使用の回線(IP 電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】
パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくための発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

故障かな!?

修理を依頼される前に、パナソニックサポートウェブサイト内の取扱説明書 基本編の「故障かな!?’で症状を確かめてください。

保証とアフターサービス よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは

■まず、お買い求め先へ ご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電話 () -	
お買い上げ日	年 月 日

修理を依頼されるときは 「故障かな!?’(パナソニックサポートウェブサイト内の取扱説明書 基本編)でご確認のあと、直らないときは、まず電源を切って、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。	●製品名 HDアナログカメラ
	●品番 WV-AV41L
	●故障の状況 できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

●修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用	●補修用性能部品の保有期間 7年
部品代	部品および補助材料代	当社は、本製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後7年保有しています。
出張料	技術者を派遣する費用	

アフターサービスについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店または保証書表面に記載されています連絡先へお問い合わせください。

高所設置製品に関するお願い

安全にお使いいただくために、1年に1回をめやすに、販売店または施工業者による点検をおすすめします。

本機を高所に設置してお使いの場合、落下によるけがや事故を未然に防止するため、下記のような状態ではないか、日常的に確認してください。

特に10年を超えてお使いの場合は、定期的な点検回数を増やすとともに買い換えの検討をお願いします。詳しくは、販売店または施工業者に相談してください。

このような状態ではありませんか?	直ちに使用を中止してください
●本機を使用せずに放置している。	事故防止のため、必ず販売店または施工業者に撤去を依頼してください。
●取付ねじがゆるんだり、抜けたりしている。	●事故防止のため、必ず販売店または施工業者に点検を依頼してください。
●取付部がぐらぐらしたり、傾いたりしている。	
●本機および取付部に破損や著しいさびがある。	

長期間使用に関するお願い

安全にお使いいただくために、販売店または施工業者による定期的な点検をお願いします。

本機を長年お使いの場合、外観上は異常がなくても、使用環境によっては部品が劣化している可能性があり、故障したり、事故につながることもあります。

下記のような状態ではないか、日常的に確認してください。
特に10年を超えてお使いの場合は、定期的な点検回数を増やすとともに買い換えの検討をお願いします。詳しくは、販売店または施工業者に相談してください。

このような状態ではありませんか?	直ちに使用を中止してください
●煙が出たり、こげくさいにおいや異常な音がある。	▶ 故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店または施工業者に点検や撤去を依頼してください。
●電源コード・電源プラグ・ACアダプターが異常に熱い。または割れやキズがある。	
●製品に触るとビリビリと電気を感じる。	
●電源を入れても、映像や音が出てこない。	
●その他の異常・故障がある。	

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

🚫	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。

⚠ 警告

🚫 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ■ 異物を入れない (水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。) ⇒直ちに電源を切り、販売店に連絡してください。 ■ 可燃性ガスの雰囲気の中で使用しない (爆発によるけがの原因となります。) ■ 塩害や腐食性ガスが発生する場所に設置しない (取付部が劣化し、落下によるけがや事故の原因となります。) ■ 落とさない、強い衝撃を与えない (けがや火災の原因となります。) ■ ぶら下からない、足場代わりにしない (けがや事故の原因となります。) ■ 風が強い場所に設置しない (風速60 m/s以上の風が強い場所に設置すると、落下などでけがや事故の原因となります。) ■ 高圧洗浄機などで本機の防水性能を超える水をかけない (浸水による火災や感電の原因となります。)
🚫 分解禁止	<ul style="list-style-type: none"> ■ 分解しない、改造しない (火災や感電の原因となります。) ⇒修理や点検は、販売店に依頼してください。
🚫 接触禁止	<ul style="list-style-type: none"> ■ 雷が鳴りだしたら、本機や接続したケーブルに触れない(工事時を含む) (感電の原因となります。)

❗	<ul style="list-style-type: none"> ■ 工事は販売店に依頼する (工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。) ⇒必ず販売店に依頼してください。 ■ 異常があるときは、すぐ使用をやめる (煙が出る、においがする、外部が劣化するなど、そのまま使用すると火災・落下によるけが、器物損壊の原因となります。) ⇒放置せずに、直ちに電源を切り、販売店に連絡してください。 ■ 総質量に耐える場所に取り付ける (落下や転倒によるけがや事故の原因となります。) ⇒十分な強度に補強してから取り付けてください。 ■ 定期的な点検する (金具やねじがさびると、落下によるけがや事故の原因となります。) ⇒点検は、販売店に依頼してください。 ■ 専用の取付金具を使用する (落下によるけがや事故の原因となります。) ⇒設置の際は、専用取付金具を使用してください。 ■ ねじやボルトは指定されたトルクで締め付ける (落下によるけがや事故の原因となります。) ■ 配線は電源を切ってから行う (感電の原因になります。また、ショートや誤配線により火災の原因となります。) ■ 人がぶつからない高さに取り付ける (けがの原因となります。) ■ 振動のないところに設置する (取付ねじやボルトがゆるみ、落下などでけがや事故の原因となります。) ■ 配線は正しく行う (ショートや誤配線により、火災や感電の原因となります。) ■ 設置の説明にしたがって壁または、天井にしっかり取り付ける (けがや事故の原因となります。)
---	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

⚠ 注意

❗	■ お手入れのときは電源を切る (けがの原因となります。)
🚫 禁止	■ 金属のエッジで手をこすらない (強くこするとけがの原因となります。)

取扱説明書について

本機の取扱説明書は以下のような構成になっています。

- 取扱説明書 設置編(本書)：設置手順、取り付け、ケーブルの接続と画角の調整について記載しています。
- 取扱説明書 基本編(パナソニックサポートウェブサイト内)：本機に関する基本的な内容(使用上のお願い、設置上のお願ひ、仕様など)を記載しています。
- 取扱説明書 操作・設定編(パナソニックサポートウェブサイト内)：本機の画面上で設定できるメニューと設定方法について記載しています。

本書内で使用している「<管理番号：Axxxx>」は、パナソニックサポートウェブサイト内で検索時に使用していただき、該当する情報へご案内するための番号です。

メモ	●製品の改良などにより、ご使用上影響のない範囲で、記載されている外観などが実際の製品と異なる場合があります。
----	--------------------------------------------------------

使用上のお願い

本機に電源スイッチはありません

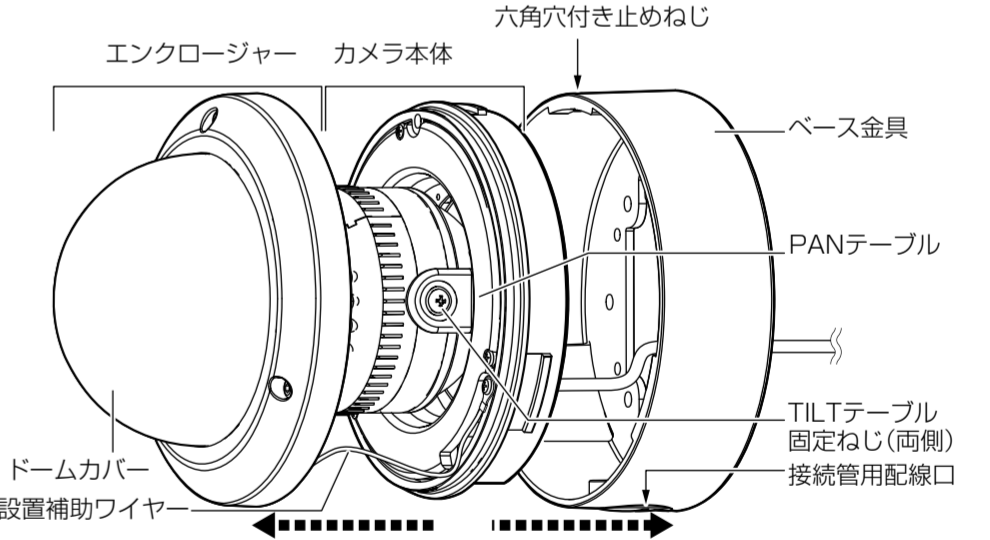
電源を切る場合は、HDアナログカメラ駆動ユニット(別売り)の電源をOFFにするか、カメラに接続されている同軸ケーブルを取り外してください。

その他の「使用上のお願い」、「設置上のお願ひ」はパナソニックサポートウェブサイト内の取扱説明書 基本編をお読みください。

VCCIについて	この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。	VCCI-A
----------	------------------------------------------------------------------------------------	--------

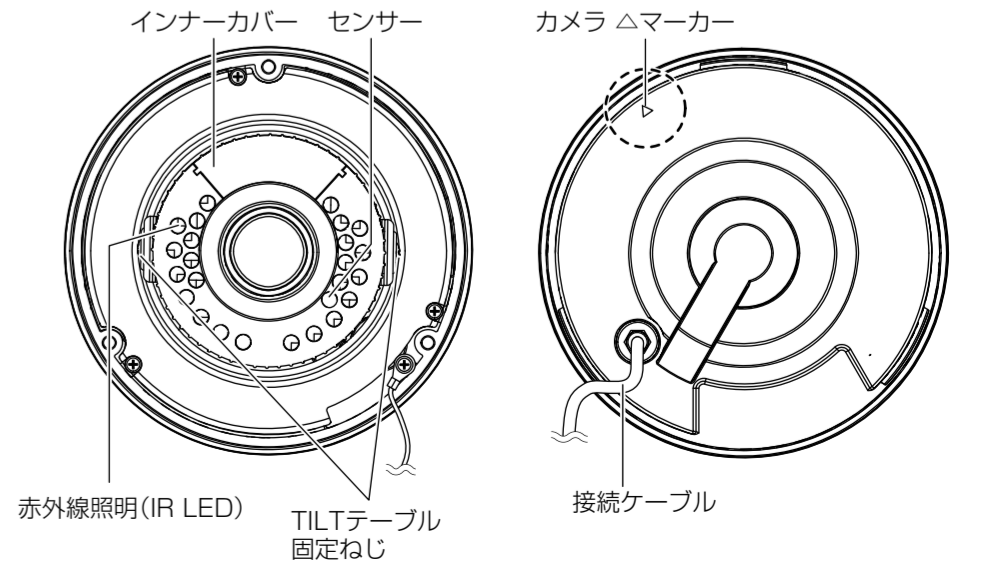
各部の名前

■ 全体



以降のイラスト内でのエンクロージャー部分、設置補助ワイヤー部分は省略されている場合があります。

■ カメラ正面(ドームカバー側) ■ カメラ底面(ベース金具側)



付属品をご確認ください

取扱説明書 設置編(本書).....1冊 保証書.....1冊
 以下の付属品は取付工事に使用します。
 防水テープ.....1個 対辺3 mmの六角レンチ 大.....1個
 型紙.....1枚 対辺1.5 mmの六角レンチ 小.....1個
 接続管用めねじキャップ.....1個 乾燥剤(アルミバック入り).....1個

付属品以外に必要なもの

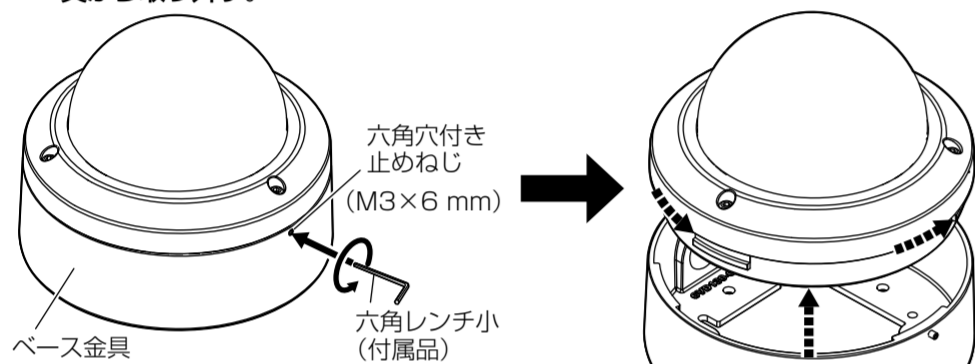
工事に必要なものを前もって準備しておく必要があります。
 固定用ねじ、もしくはアンカーボルト4本(M4、JIS規格品)
 固定用ねじ、もしくはアンカーボルトなどの**最低引抜強度は1本あたり196 N(20 kgf)**を確保してください。

重要

- 最低引抜強度の説明についてはパナソニックサポートウェブサイトを参照してください。https://sol.panasonic.biz/security/support/info_anlg.html<管理番号:A0101>
- ねじの種類は取付場所の材質に合わせて選択してください。木ねじおよびきざは使用しないでください。
- 石こうボードなど、強度が不十分な取付場所に取り付ける場合は、十分な補強を施してください。

カメラの準備をする

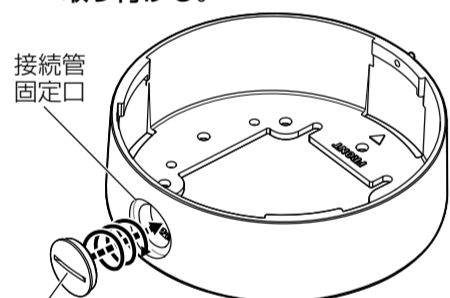
[1] 六角穴付き止めねじをゆるめ、カメラ部分を反時計回りに回転させてベース金具から取り外す。



メモ

- 六角穴付き止めねじは約3~4回転でゆるみます。回し過ぎるとねじがベース金具から外れますのでご注意ください。

[2] 接続管を使って露出配線をしない場合は、接続管用めねじキャップ(付属品)を取り付ける。



メモ

- JIS C 8305(電線管ねじ)のCTG22またはJIS B 0202(管用平行ねじ)のG1/2に対応しています。
- 接続管を使用する場合は接続管用めねじキャップ(付属品)は使用しません。

重要

- 接続ケーブルを露出配線する場合は、必ず接続管を使用して、接続ケーブルに直射日光が当たらないようにしてください。
- 接続した接続管を通して建物など接続先に水が侵入しないように、防水処理をしてください。

設置の前に

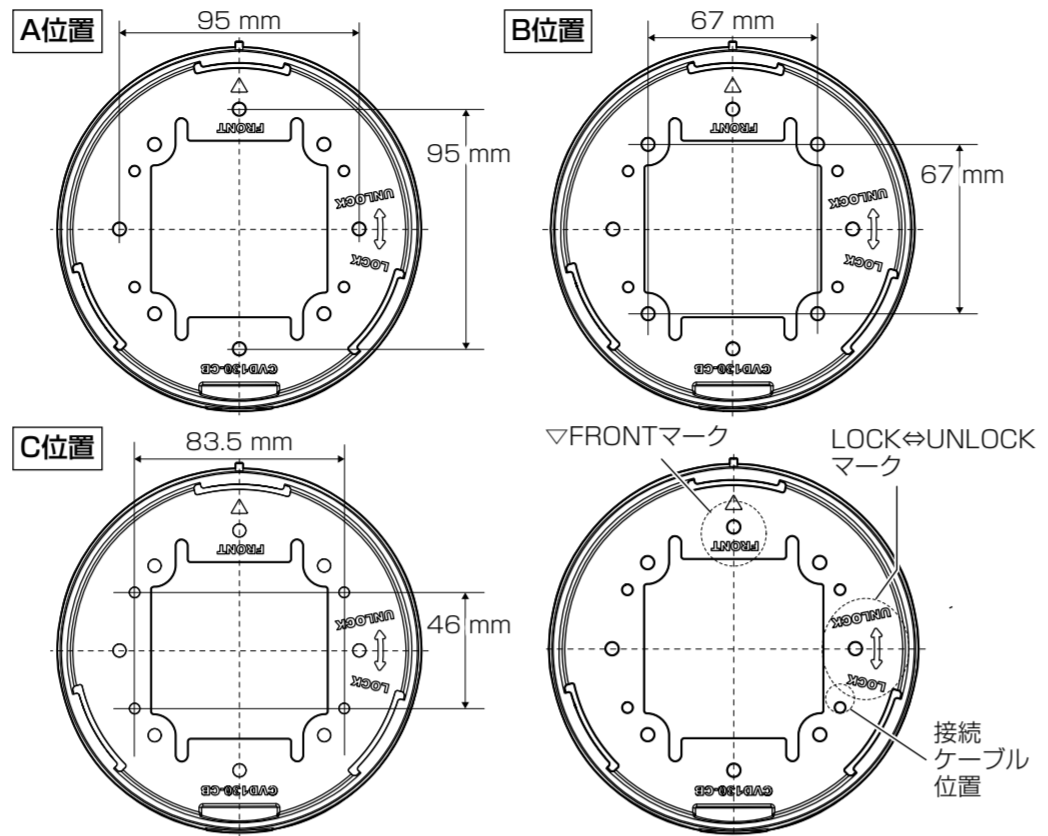
- 設置工事は電気設備技術基準に従って実施してください。
- 設置開始前に、必ずシステム全体の電源がOFFになっていることを確認してください。
- カメラの設置には以下の2種類があります。
【I】天井または壁面にカメラを固定した後に、側面より配線を接続する方法
【II】天井裏または壁の裏面から配線を接続する方法
 本書では**【I】**の設置方法について説明します。
- 本機はカメラを固定すると操作スイッチを使用することができなくなります。(天井裏または壁の裏面から配線を接続する場合は、MONITOR OUT端子も使用できません。)
 撮影画像確認、オンスクリーンメニュー設定はすべてHDアナログディスクレコーダー側の画面上から実施するか、設置開始前の事前準備の段階で確認・設定を実施してください。

同軸ケーブルの配線について

HDアナログカメラを複数台接続し、同軸ケーブルが近接する場合は、映像に縦縞のノイズなどが発生する場合があります。
 画面の症状や対処の方法については、パナソニックサポートウェブサイト(https://sol.panasonic.biz/security/support/info_anlg.html<管理番号:A0104>)を参照してください。

設置する

[1] 型紙(付属品)を使って、ベース金具の取付ねじ穴と配線用の穴をあける。
 ベース金具は、天井や壁面の状態によって次の3通りのねじ位置で固定できます。
 取付に使用する穴は、A~Cの位置で統一してご使用ください。



- ベース金具の向きについては以下の内容を目安として方向を決めてください。
 - 天井に取り付ける場合…ベース金具の「▽FRONT」マークが、カメラのレンズを向ける方向となるように向きを合わせてください。
 - 壁面に取り付ける場合…ベース金具の「▽FRONT」マークを、上方向にしてください。
- 上記A~C位置を参考にして穴加工してください。

メモ

- 穴径や穴の深さはご使用の固定用ねじまたはアンカーボルトの仕様にしたがって決定してください。
- 天井、壁面に穴をあけて配線する場合は、イラストの「接続ケーブル位置」の近く、ベース金具の底面が開いている部分に配線用の穴をあけてください。穴径はご使用の接続ケーブル、端子に合わせて調整してください。

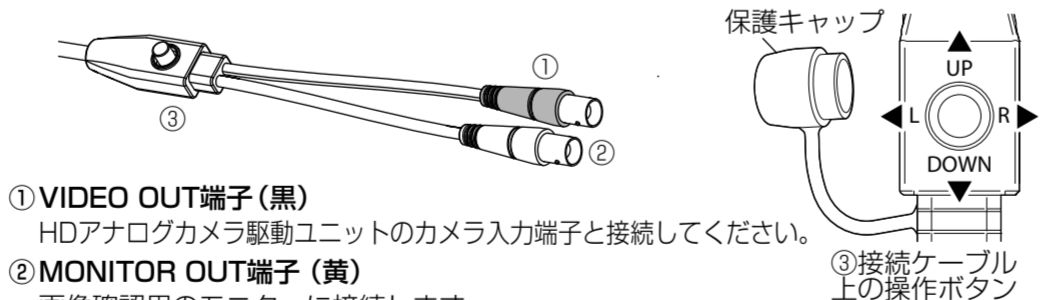
[2] ベース金具を取り付ける。
 最低引抜強度：196 N(20 kgf)/1本あたり

メモ

- ベース金具取り付け時は、ベース金具取付ねじ穴、配線用の穴は防水処理してください。

[3] ケーブル類を接続する。
 カメラとHDアナログカメラ駆動ユニット(別売り)を接続するケーブルは、BNC-BNC端子付きの5C-2V同軸ケーブル(現地調達)をご使用ください。

同軸ケーブル	3C-2V使用時	5C-2V使用時
最大ケーブル 延長距離	最大300 m	最大500 m



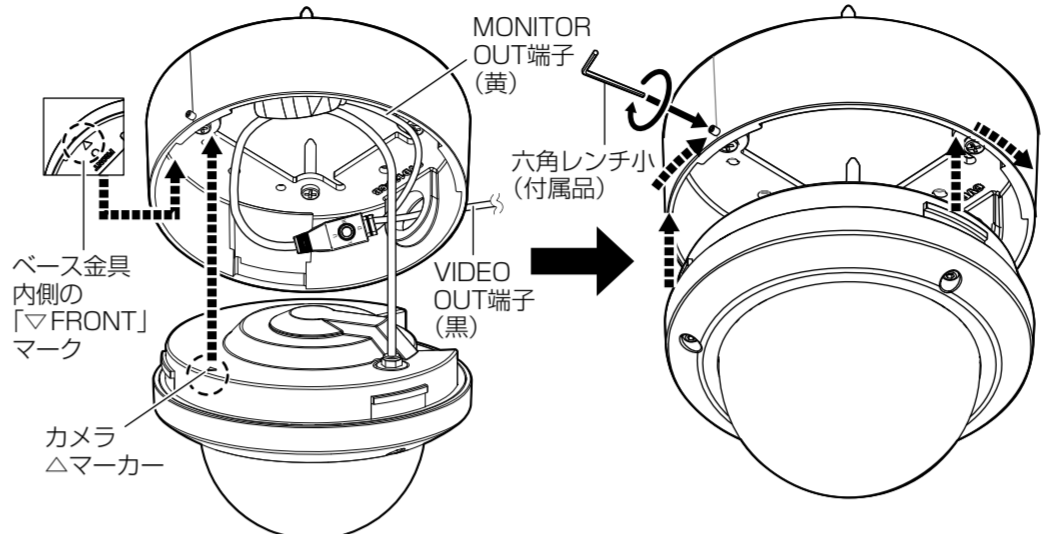
- VIDEO OUT端子(黒)**
 HDアナログカメラ駆動ユニットのカメラ入力端子と接続してください。
- MONITOR OUT端子(黄)**
 画像確認用のモニターに接続します。
 VIDEO OUT端子をSD OUT(コンポジット映像信号)に切り換えて使用する場合は、MONITOR OUT端子からの出力はなくなります。
- 操作ボタン**
 接続ケーブルの操作ボタンでオンスクリーンメニューを操作します。
 操作ボタンを押すと「選択」となります。オンスクリーンメニューの操作方法と基本設定は、右上の「オンスクリーンメニュー」をご参照ください。

- [4] 接続部分を防水処理する。
 ●カメラのVIDEO OUT端子、MONITOR OUT端子を防水処理してください。使用していない端子も防水処理が必要です。
 ●操作ボタン部分は防水です。防水処理しないでください。

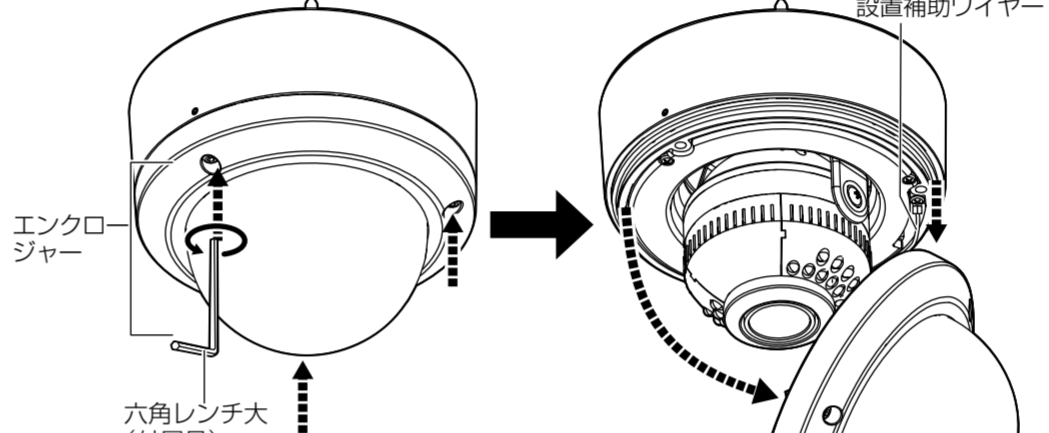
重要

- テープを約2倍の長さに引き伸ばし端子・ケーブルの周りに巻きつけてください。テープを十分に引き伸ばさないと、十分な防水性が得られません。

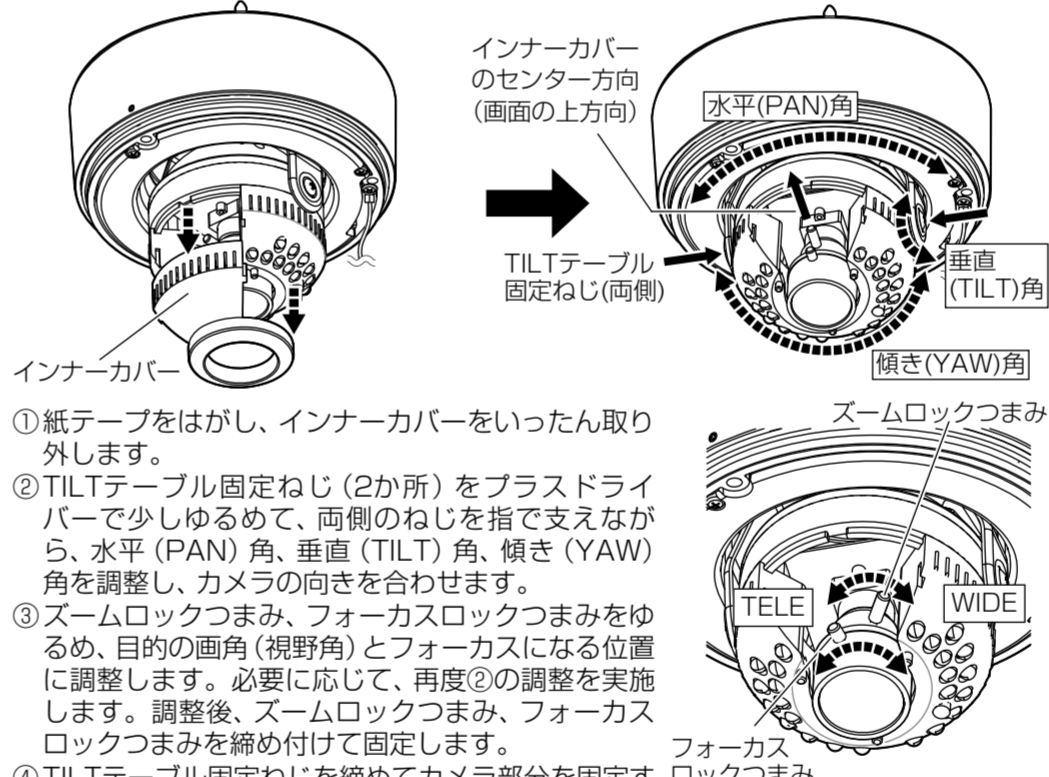
- [5] カメラをベース金具に固定する。
 ①カメラ底面の△マークをベース金具内側の▽FRONTマークに合わせてカメラを金具に差し込む。
 ②カメラを下から見て時計回りに回転させて仮固定する。
 ③対辺1.5 mmの六角レンチ小(付属品)を使って六角穴付き止めねじを回してカメラを固定する。
 推奨締付トルク：0.2 N・m(2 kgf・cm)



[6] エンクロージャー部分を取り外し、HDアナログカメラ駆動ユニットの電源を入れる。
 カメラの画像が正常に出画することを確認する。



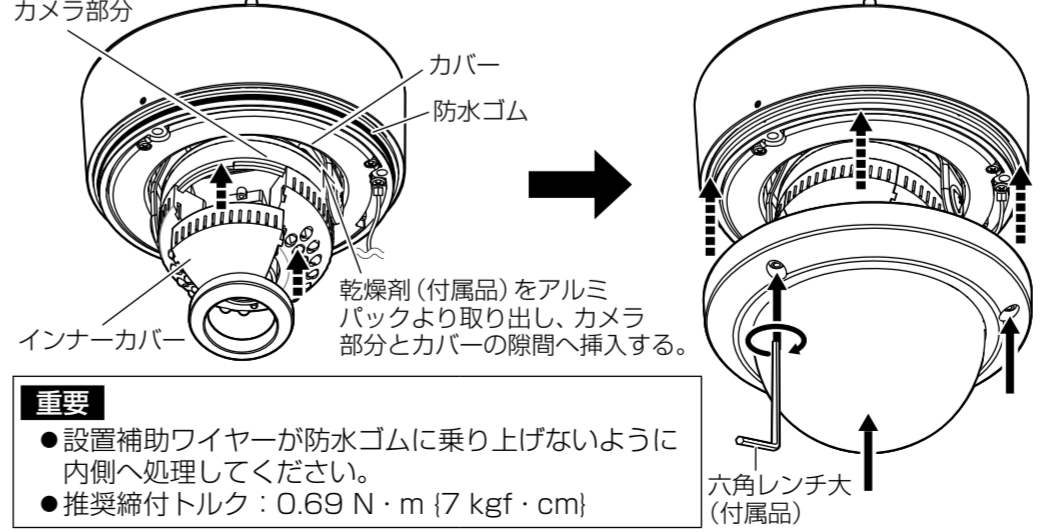
[7] インナーカバーを取り外し、カメラの画角を調整する。



- 紙テープをはがし、インナーカバーをいったん取り外します。
- TILTテーブル固定ねじ(2か所)をプラスドライバーで少しゆるめて、両側のねじを指で支えながら、水平(PAN)角、垂直(TILT)角、傾き(YAW)角を調整し、カメラの向きを合わせます。
- ズームロックつまみ、フォーカスロックつまみをゆるめ、目的の画角(視野角)とフォーカスになる位置に調整します。必要に応じて、再度②の調整を実施します。調整後、ズームロックつまみ、フォーカスロックつまみを締め付けて固定します。
- TILTテーブル固定ねじを締めてカメラ部分を固定する。推奨締付トルク：0.44 N・m(4.5 kgf・cm)

- 明るい環境でフォーカスを合わせると、夕方や夜間にフォーカスがボケる場合があります。その場合は[IRIS]の設定を[ELC]に変更し、[SHUTTER](MANUAL)画面で、電子シャッターのスピード[SPEED]を1/30(初期設定)にした状態でフォーカスを再調整してください。

[8] カメラとカバー部分の隙間より乾燥剤(付属品)を挿入し、インナーカバーとエンクロージャーを取り付ける。



重要

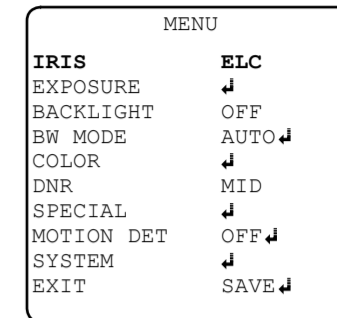
- 設置補助ワイヤーが防水ゴムに乗り上げないように内側へ処理してください。
- 推奨締付トルク：0.69 N・m(7 kgf・cm)

オンスクリーンメニュー

本機はHDアナログディスクレコーダー(別売り)に接続されたディスプレイまたは画像確認用のモニターの画面上から、「メニュー」を使ってカメラの動作を設定できます。ここでは設置に関する「システム」部分の概略を説明します。メニューの詳細内容はパナソニックサポートウェブサイト内(取扱説明書掲載ページ)の「取扱説明書 操作・設定編」をご参照ください。

[1] 操作ボタンの使用方法

- メニュー画面を表示する。
 - 操作ボタンを押して、[MENU]画面を表示します。
 - カーソル位置は文字が黄色になっている部分です。
- 画面のカーソル位置を移動させる。
 操作ボタンを▲(上:UP)、▼(下:DOWN)に動かすと、画面上のカーソル位置が上下に移動します。
- 項目を切り換え選択する。
 操作ボタンを◀(左:L)、▶(右:R)に動かして表示内容を切り換え、操作ボタンを押す●(ENTER)と選択できます。
- 変更内容を確認させる。
 カーソルを[EXIT]に移動して操作ボタンを押すと、設定内容を保存して[MENU]画面を閉じます。

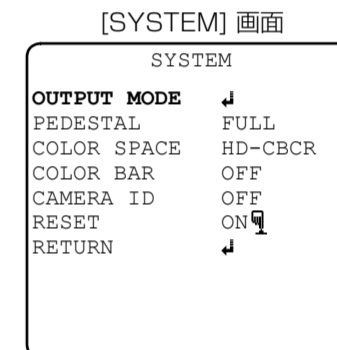


重要

- オンスクリーンメニューは、何も操作をしないと約90秒で閉じます。その場合、保存していない変更内容は破棄されます。
- 各画面で設定を変更した場合は、カーソルを[RETURN]に合わせて操作ボタンを押して、設定を保存してください。

[2] システムメニューの内容

[MENU]画面から、[SYSTEM]にカーソルを移動させ、操作ボタンを押すと、[SYSTEM]画面が表示されます。



① OUTPUT MODE

- [OUTPUT MODE]にカーソルがある状態で操作ボタンを押すと[OUTPUT MODE]画面になり、以下の内容が表示され、それぞれ設定できます。
- VIDEO OUT HD OUT
 (左:L)操作(右:R)操作でHD OUT ⇄ SD OUTを切り換えます。
 - CONFIRM YES
 再確認のメッセージです。
 - RETURN
 [SYSTEM]画面に戻ります。

② PEDESTAL

- (左:L)操作(右:R)操作で、FULL → COMP → USERを切り換えます。
 FULL:カメラの撮影画像によって自動的に明るさを調整します。
 COMP:FULLモードに0~32の間である程度の明るさを加えることができます。
 USER:ユーザーが手で明るさを調整できます。

③ COLOR SPACE

- (左:L)操作(右:R)操作で、HD-CBCR → YUV → SD-CBCRを切り換えます。

④ COLOR BAR

- (左:L)操作(右:R)操作で、OFF → ONを切り換えます。

⑤ CAMERA ID

- (左:L)操作(右:R)操作で、以下のように位置を変更できます。
 OFF → RIGHT UP → LEFT DOWN → LEFT UP → RIGHT DOWN
- 表示できる文字数：16文字
 - 使用できる文字の種類：
 数字(0~9)、アルファベット(A~Z)記号(19個)、カタカナ(58文字)

⑥ RESET

- [RESET]にカーソルを合わせて、操作ボタンを左に2回、右に2回倒したあと、操作ボタンを「PUSHING」が表示されるまで長押しします。

⑦ RETURN

- 選択位置を(上:UP)操作(下:DOWN)操作で[RETURN]にあわせて操作ボタンを押すと、[MENU]画面に戻ります。

メモ

- オンスクリーンメニューは、HDアナログディスクレコーダーに接続されたディスプレイ上から、マウスまたは前面パネルの十字ボタンを使って操作できます。
- 使用する画像確認用モニターによっては、画面上に表示される文字が欠けて見える場合があります。